

# クリニカル・インディケーター（臨床指標）

クリニカル・インディケーター（Clinical Indicator）とは、病院の様々な機能を適切な指標を用いて表したものであり、これを分析し、改善することにより医療サービスの質の向上を図ることを目的とするものです。

平成22年度からは、厚生労働省において、国民の関心の高い特定の医療分野について、医療の質の評価・公表を実施し、その結果を踏まえた、分析・改善策の検討を行うことで、医療の質の向上及び質の情報の公表を推進することを目的とする「医療の質の評価・公表等推進事業」が開始されています。

平成29年度～平成30年度の、5分野21項目の臨床指標を定め、収集し、ここに公表します。

臨床指標の公表の取組は、厚生労働省における取組や、他の病院において公表されている臨床指標を参考として、指標の収集・公表が適当な項目を精査するとともに、この指標の公表、改善を繰り返すことにより、医療の質の改善に努めてまいります。

## I 病院全体

- 1 主要疾患別患者数
- 2 病床利用率
- 3 平均在院日数
- 4 在宅復帰率
- 5 年代内訳
- 6 入院件数
- 7 退院件数
- 8 死亡退院件数
- 9 死亡退院率
- 10 褥瘡院内発生率
- 11 新規感染症検出報告
- 12 救急受け入れ件数

## II 予防医療

- 1 職員健診受診率
- 2 職員インフルエンザ予防接種実施率

## III 診療プロセス

- 1 各種検査件数
- 2 NS介入件数
- 3 他医療機関診察依頼の割合

## IV 医療安全

- 1 インシデント件数
- 2 インシデント レベル別件数
- 3 インシデント 内容別件数

## V 経営・患者満足

- 1 外来待ち時間

I 病院全体

1 主要疾患別患者数

主要疾患別患者数は、退院された患者の疾患（医師サマリー主病名）を国際疾病分類（ICD）に分類し、統計化したものです。 当院がどのような医療を行っているのかを最も端的に表しており、経年変化を注視することにより地域医療に果たす役割を分析する指標となります。

地域包括ケア病棟疾病分類(平成30年度)													
疾病分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
I 感染症および寄生虫症 A00-B99			1				1	1		1			4
II 新生物 C00-D48	3	1	9	6	7	3	6	6	7	3	6	5	62
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89											1		1
IV 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90		3		2	4	2	4	1	2	1		1	20
V 精神および行動の障害 F00-F99		2	1					1					4
VI 神経系の疾患 G00-G99	1	2	1			2				2		3	11
VII 眼および付属器の疾患 H00-H59				1									1
VIII 耳および乳様突起の疾患 H60-H95				2									2
IX 循環器系の疾患 I00-I99	2	3	4	4	2		2	6	4	4	5	2	38
X 呼吸器系の疾患 J00-J99	4	6	3	1	3	3	3	2	2	8	4	2	41
11 消化器系の疾患 K00-K93	2	2					3		1	3	1	1	13
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99		1	1	6		1	1						10
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	7	1	5		7	2	2	7	5	4	3	6	49
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99	2	1	1		1	1	2	3	1	1	1	1	15
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99	1			1		1				1			4
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	3	5	3	3	3	4	4	2	2	1	4	5	39
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99													0
合計	25	27	29	26	27	19	28	29	24	29	25	26	314

地域包括ケア病棟疾病分類(平成29年度)														
疾病分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
I 感染症および寄生虫症 A00-B99	1			1		1		1		1	1		6	
II 新生物 C00-D48	3	1	2	2	1	7	5	3	5			1	4	34
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89					1								1	
IV 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	1	3	1	1					1				7	
V 精神および行動の障害 F00-F99	2		3	1	1			2		2	1		12	
VI 神経系の疾患 G00-G99	1				2	1			2		1	1	8	
VII 眼および付属器の疾患 H00-H59													0	
VIII 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0	
IX 循環器系の疾患 I00-I99	8	3	9	3		4	1	7	2		2	4	43	
X 呼吸器系の疾患 J00-J99	2	2	3	4	6	1	4	2	5	2	7	7	45	
11 消化器系の疾患 K00-K93		2		3	2	1	1	1	3		2	3	18	
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99		1		3			1	1			1		7	
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	4	7	2	3	2	3	2	2	5	3	2	4	39	
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99	2		5		2		1	3	5	2			20	
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0	
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0	
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0	
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99	2	1	2	2	2	2	3			1		2	17	
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	3	1	2	1	3	6	2	4	3	7	9	4	45	
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0	
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99													0	
合計	29	21	29	24	22	26	20	26	31	18	27	29	302	

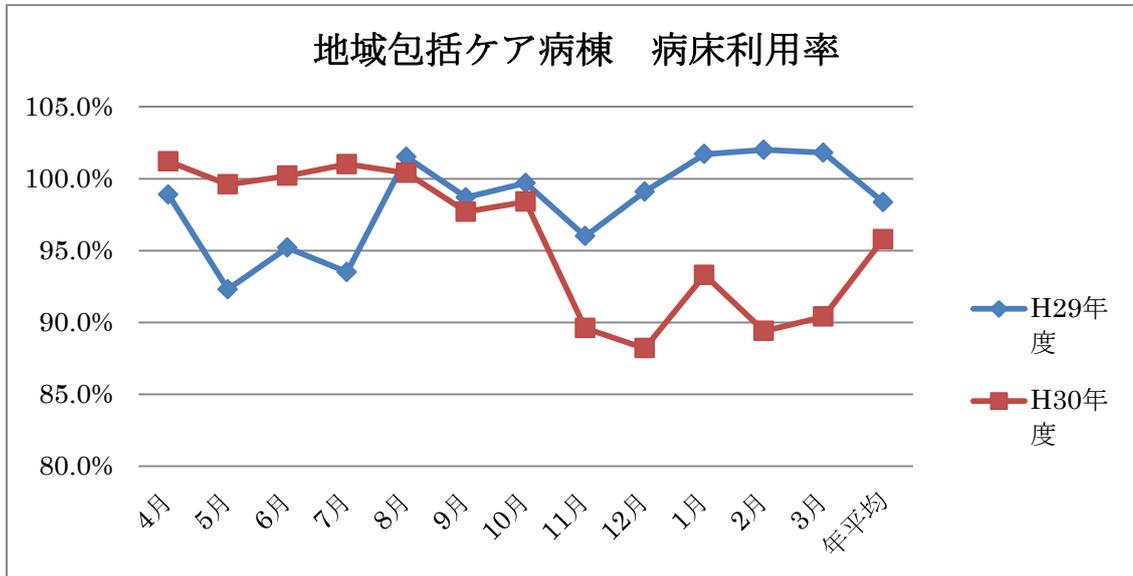
回復期リハビリテーション病棟疾病分類(平成30年度)														
疾病分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
I 感染症および寄生虫症 A00-B99													0	
II 新生物 C00-D48						1			2		1		4	
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89													0	
IV 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90													0	
V 精神および行動の障害 F00-F99													0	
VI 神経系の疾患 G00-G99			1	1		1							3	
VII 眼および付属器の疾患 H00-H59													0	
VIII 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0	
IX 循環器系の疾患 I00-I99	4	6	2	2	4	1	2	5	3	5	3	1	38	
X 呼吸器系の疾患 J00-J99		1		1		1				1			4	
11 消化器系の疾患 K00-K93													0	
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99													0	
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	2			2	3		2	4		2			15	
14 腎尿路器系の疾患 N00-N99											1		1	
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0	
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0	
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99							1						1	
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99													0	
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	9	7	16	8	6	8	3	6	4	6	7	8	88	
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0	
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99				1									1	
合計	15	14	19	15	13	12	8	15	9	14	12	9	155	

回復期リハビリテーション病棟疾病分類(平成29年度)														
疾病分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
I 感染症および寄生虫症 A00-B99													0	
II 新生物 C00-D48	1		1			1							3	
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89													0	
IV 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90						1							1	
V 精神および行動の障害 F00-F99													0	
VI 神経系の疾患 G00-G99													0	
VII 眼および付属器の疾患 H00-H59													0	
VIII 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0	
IX 循環器系の疾患 I00-I99	4	4	4	2	3	2	2	8	1	6	2	3	41	
X 呼吸器系の疾患 J00-J99											2		2	
11 消化器系の疾患 K00-K93													0	
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99													0	
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	1			1	2	1						2	7	
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99													0	
15 妊娠、分娩および産じょく<<褥>> O00-O99													0	
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0	
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0	
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99													0	
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	3	6	11	6	8	7	6	9	6	7	9	9	87	
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0	
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99							1						1	
合計	9	10	16	9	13	12	9	17	7	13	13	14	142	

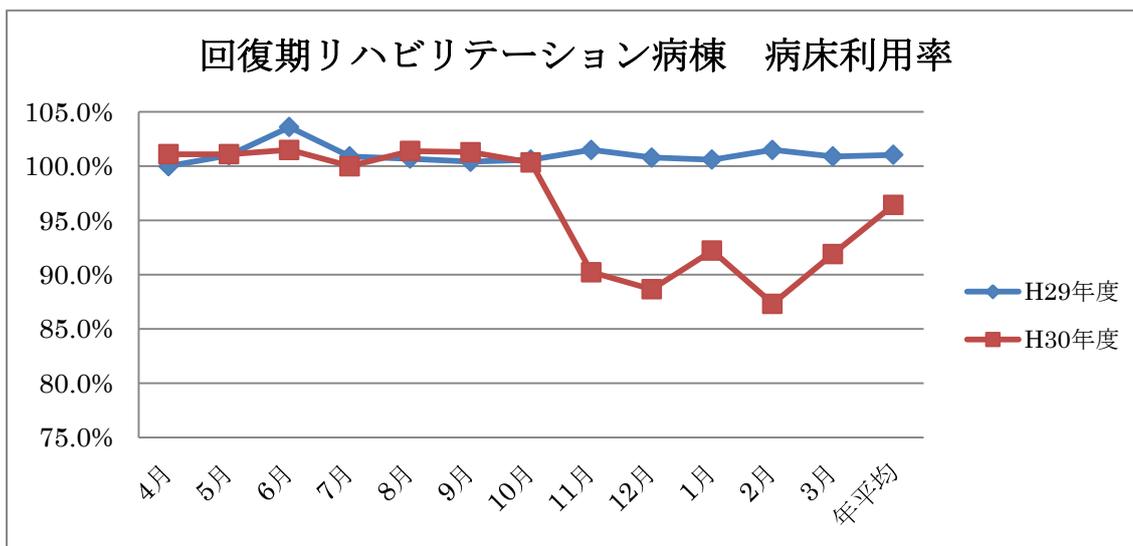
## 2 病床利用率

入院患者に対する病床（ベッド）数の割合を示したもので、病床の稼働状況がわかります。病床利用率が低い場合、経営的な問題はもちろんです。が、病院の受け入れ体制が整っていないことや、地域のニーズに則していないことなども考えられますので、早急な改善が必要となる場合があります。

病院の規模や機能、地域の特性、病床の種類などによって数字は変わってきますが、一般的には94%前後が病床利用率の理想値と言われています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
H29年度	98.9%	92.3%	95.2%	93.5%	101.5%	98.7%	99.7%	96.0%	99.1%	101.7%	102.0%	101.8%	98.4%
H30年度	101.2%	99.6%	100.2%	101.0%	100.4%	97.7%	98.4%	89.6%	88.2%	93.3%	89.4%	90.4%	95.8%



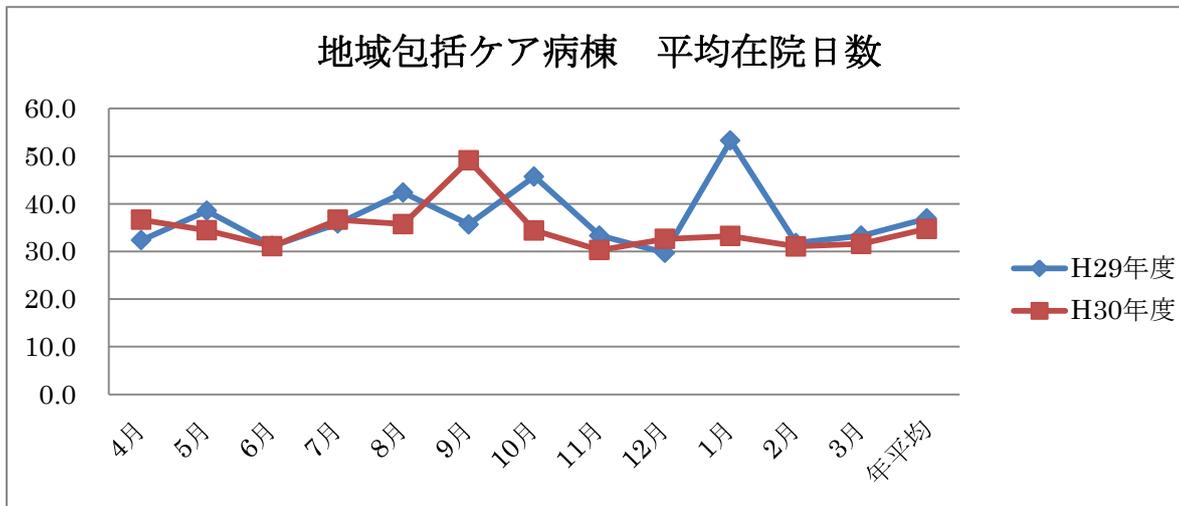
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
H29年度	100.0%	101.0%	103.6%	100.9%	100.7%	100.4%	100.6%	101.5%	100.8%	100.6%	101.5%	100.9%	101.0%
H30年度	101.1%	101.1%	101.5%	100.0%	101.4%	101.3%	100.3%	90.2%	88.7%	92.2%	87.3%	91.9%	96.4%

### 3 平均在院日数

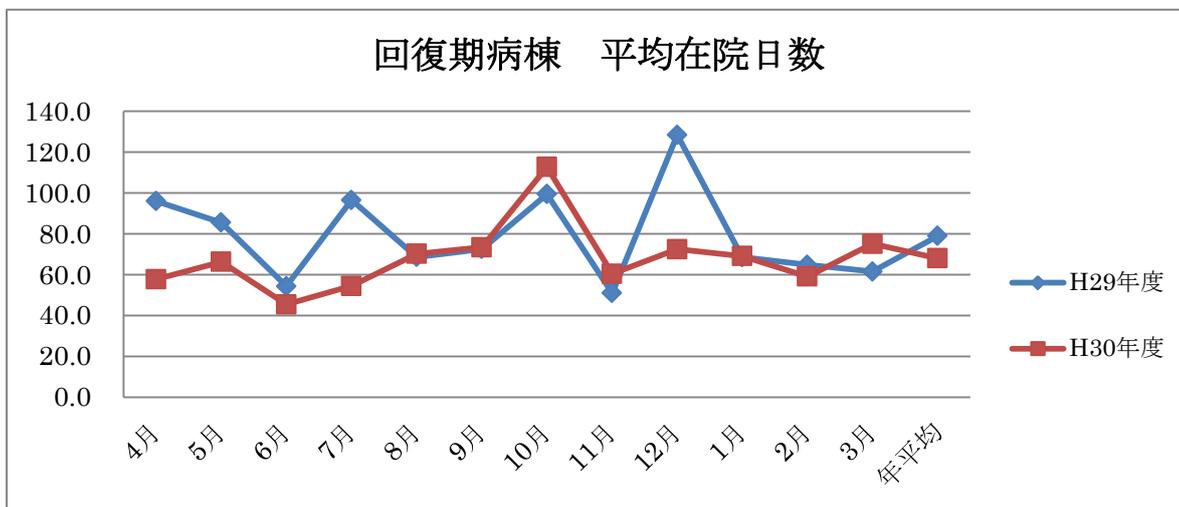
平均在院日数は、医療機関に入院した患者の1回当たりの平均的な入院日数を示すものです。病院の機能や患者の重症度などにより在院日数は変動するものであり、医療管理上のみならず病院経営の面からも重要な指標となっています。

当該期間内の在院患者延べ数

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{当該期間内の入院患者数} + \text{当該期間内の退院患者数}}{2}$$



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
H29年度	32.4	38.5	31.1	35.8	42.4	35.7	45.7	33.3	29.7	53.3	31.8	33.3	36.9
H30年度	36.6	34.4	31.1	36.6	35.7	49.1	34.4	30.3	32.6	33.2	31.0	31.6	34.7

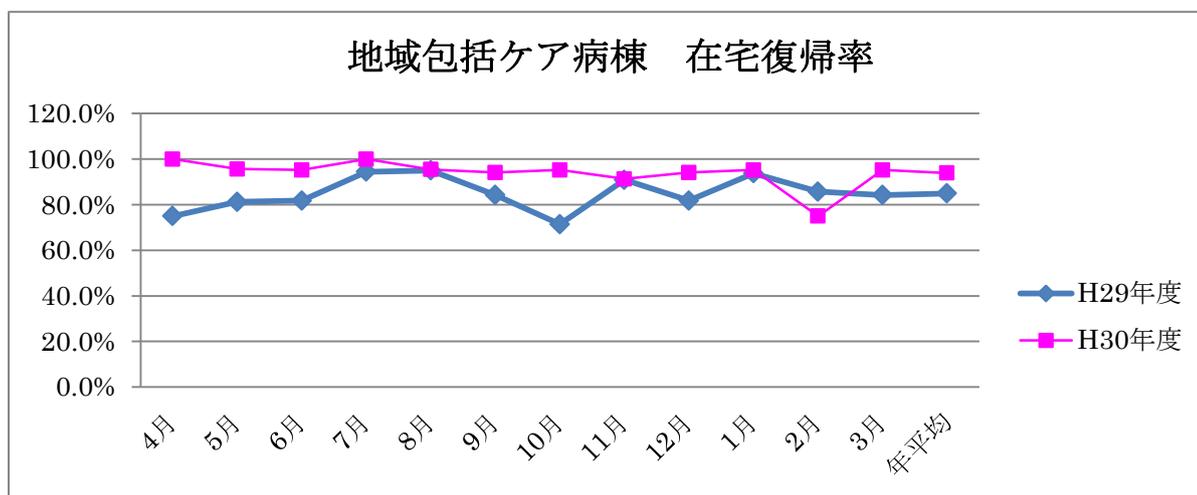


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
H29年度	96.0	85.5	54.3	96.6	68.6	72.5	99.4	50.9	128.4	68.5	64.8	61.5	78.9
H30年度	57.7	66.3	45.4	54.5	70.2	73.4	112.8	60.4	72.5	69.1	59.1	75.1	68.0

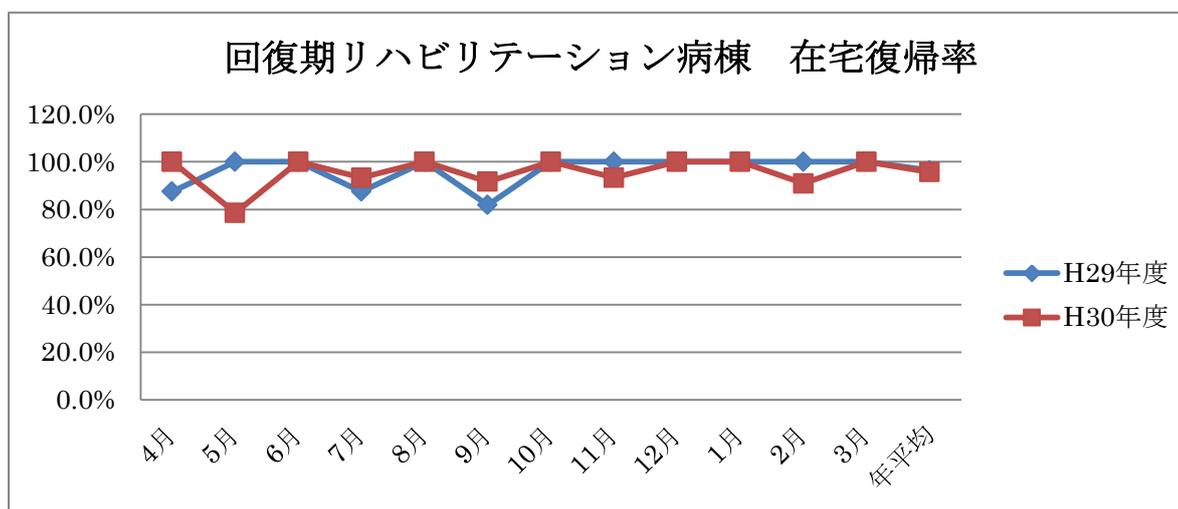
#### 4 在宅復帰率

病棟における在宅復帰機能を評価する観点から、地域包括ケア病棟入院基本料1を届け出ている病棟において、在宅復帰率が70%以上等の基準を求められております。当院の地域包括ケア病棟の在宅復帰率は93.9%で、この基準を満たしております。

回復期リハビリテーション病棟も同様に、回復期リハビリテーション病棟入院基本料3を届け出ている病棟において、在宅復帰率が70%以上等の基準を基準を求められております。地域包括ケア病棟と同様に95.7%と基準を満たしております。



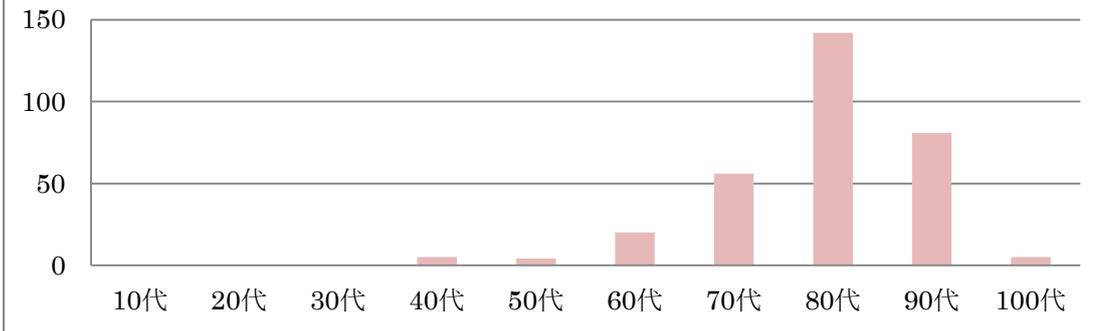
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
H29年度	75.0%	81.3%	81.8%	94.4%	95.0%	84.2%	71.4%	90.9%	81.8%	93.8%	85.7%	84.2%	85.0%
H30年度	100.0%	95.7%	95.2%	100.0%	95.5%	94.1%	95.2%	91.3%	94.1%	95.2%	75.0%	95.2%	93.9%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
H29年度	87.5%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	81.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%
H30年度	100.0%	78.6%	100.0%	93.3%	100.0%	91.7%	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	90.9%	100.0%	95.7%

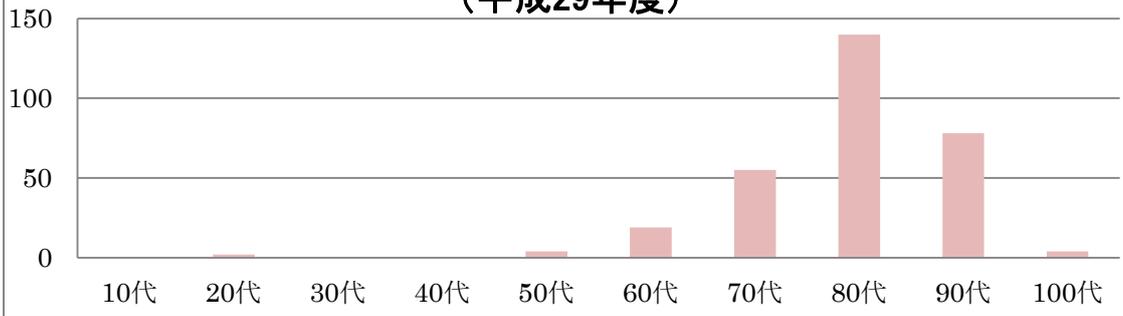
5 年代内訳

地域包括ケア病棟 年代内訳  
(平成30年度)



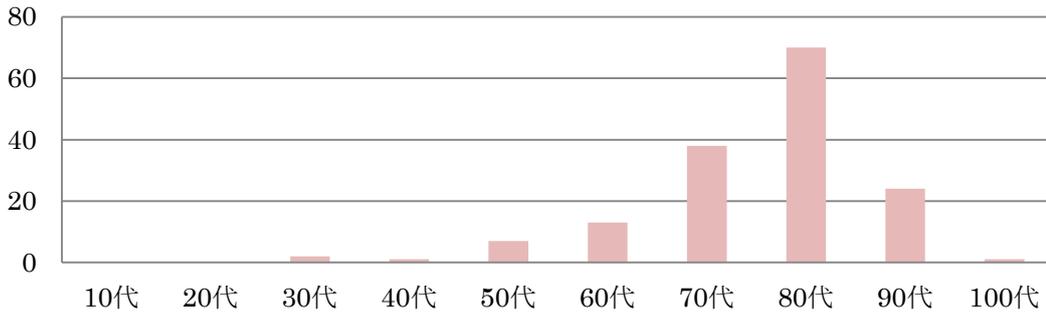
年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代													0
20代													0
30代													0
40代	1	1						1			2		5
50代		2			1		1						4
60代	1	1		4	3	2	1	2	1		5		20
70代	5	3	6	5	7	3	1	4	7	5	4	6	56
80代	13	11	15	9	10	7	13	14	13	16	7	14	142
90代	5	9	7	8	6	5	10	5	7	3	7	9	81
100代			1	1		1	1			1			5
合計	25	27	29	27	27	18	27	26	28	25	25	29	313

地域包括ケア病棟 年代内訳  
(平成29年度)



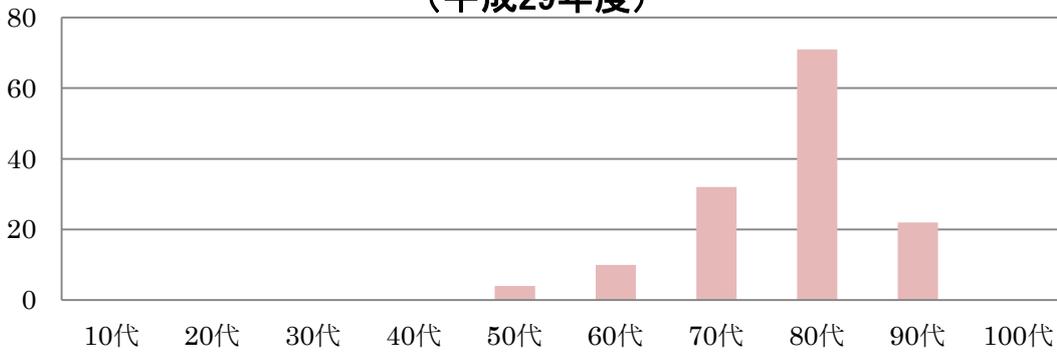
年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代													0
20代		1						1					2
30代													0
40代													0
50代				2	1	1							4
60代		3	4	2	3	1	2		2		2		19
70代	2	5	5	4	4	3	4	6	6	4	6	6	55
80代	16	10	11	13	8	12	9	14	11	9	14	13	140
90代	8	6	5	4	7	6	8	4	12	5	5	8	78
100代			1			1			1			1	4
合計	26	25	26	25	23	24	23	25	32	18	27	28	302

回復期リハビリテーション病棟 年代内訳  
(平成30年度)



年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代													0
20代													0
30代							2						2
40代						1							1
50代	1	2				1				1	1	1	7
60代	1	1	4	2	1	1		1	2				13
70代	4	4	3	2	8	3	1		4	2	3	4	38
80代	6	2	10	10	3	6	4	9	5	5	7	3	70
90代	3	4	2	3	1		1	1	2	1	1	5	24
100代										1			1
合計	15	13	19	17	13	12	8	11	13	10	12	13	156

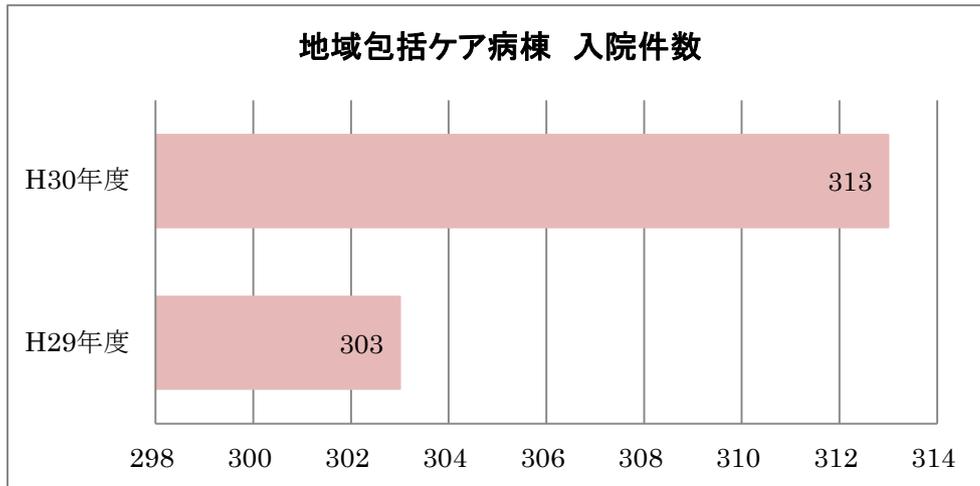
回復期リハビリテーション病棟 年代内訳  
(平成29年度)



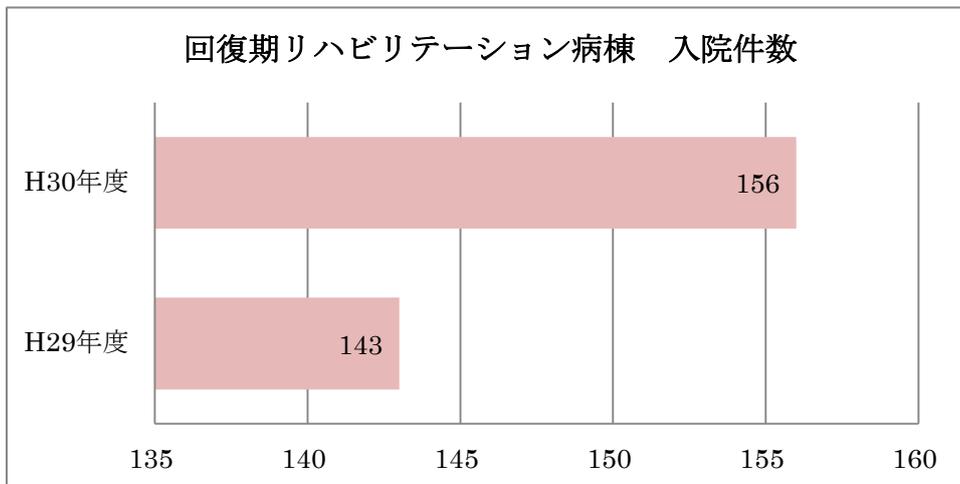
年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代													0
20代													0
30代													0
40代													0
50代			1	1	1					1			4
60代		2	3	1	1		1			1	1		10
70代	2	2	5			4	1	5	1	4	4	4	32
80代	7	6	4	5	5	7	2	11	4	7	5	8	71
90代		1	3	2	2	1	5	1	2		2	3	22
100代													0
合計	9	11	16	9	9	12	9	17	7	13	12	15	139

## 6 入院件数

1年の間に新たに入院された件数で、病院のベッド数（地域包括ケア病棟31床、回復期病棟29床）や入院日数、入院待ちの件数などで変動してきます。地域包括ケア病棟では在院日数の短縮傾向に伴い、新たに入院される患者数が年々増加しています。



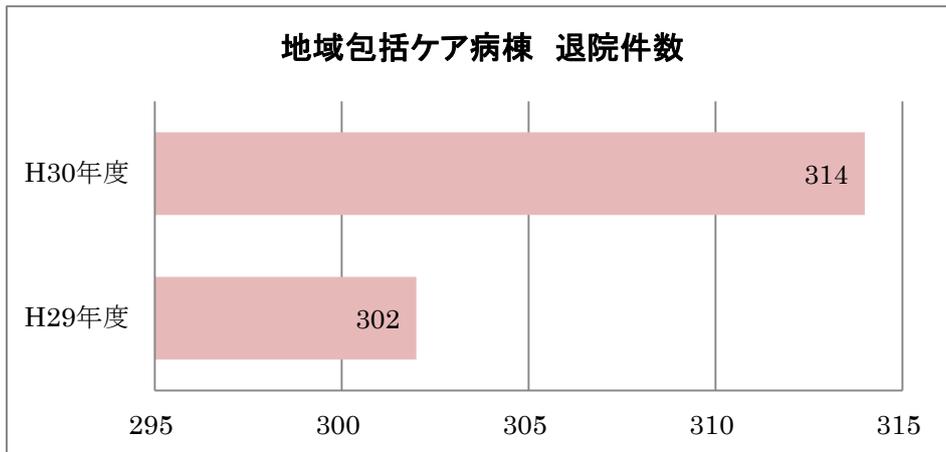
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	26	25	27	25	23	24	23	26	31	18	27	28	303
H30年度	25	27	29	27	27	18	27	26	28	25	25	29	313



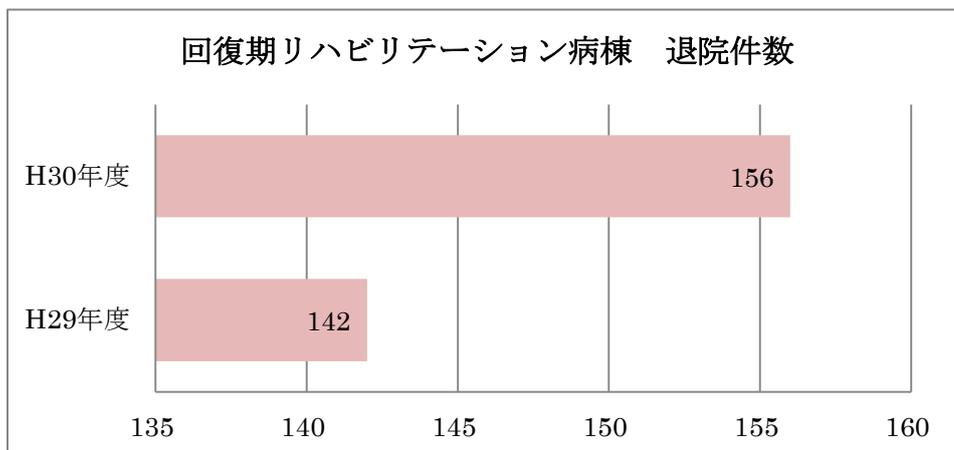
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	9	11	16	9	13	12	9	17	7	13	12	15	143
H30年度	15	13	19	17	13	12	8	11	13	10	12	13	156

## 7 退院件数

1年の間に退院された件数で、病院のベッド数や入院日数などで変動してきます。全体的に在院日数の短縮傾向に伴い、退院件数が年々増加しています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	29	21	29	24	22	26	20	26	31	18	27	29	302
H30年度	25	27	29	26	27	19	28	29	24	29	25	26	314



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	9	10	16	9	13	12	9	17	7	13	13	14	142
H30年度	15	14	19	16	13	12	8	15	9	14	12	9	156





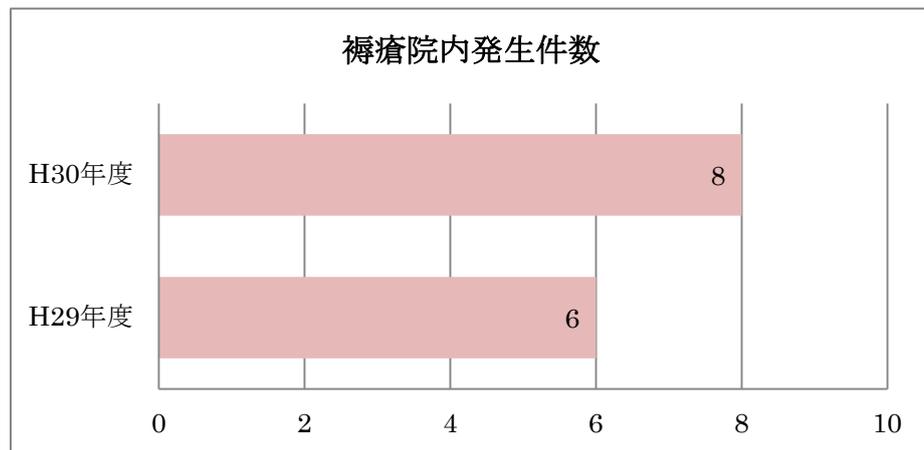
## 10 褥瘡発生率

褥瘡（じょくそう）とは、栄養不良、全身状態の悪化、長時間の圧迫などにより皮膚が循環障害を起こし、いわゆる「床ずれ」となってしまったものをいい、これにより感染症を招いたり、身体の活力を低下させる原因となります。褥瘡発生率とは、入院後新たに褥瘡を患った患者さんの件数です。

当院では、運動障害や神経障害を有する患者さんが多く、褥瘡発生のリスクは高まるため、ハイリスク患者に対して耐圧分散用具を使用し予防対策に努めております。

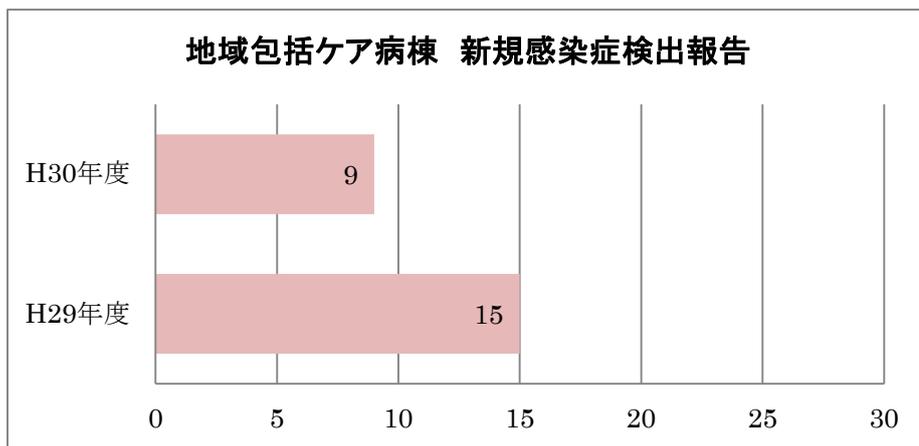
皮膚科医師、看護師、薬剤師、栄養士からなる褥瘡対策チーム回診を実施し、ハイリスク患者、褥瘡患者に対する予防、治療、栄養の評価を検討し、継続した治療・ケアが実践できるように取り組んでいます。

職員への教育は、褥瘡対策と知識・技術向上のため、褥瘡に関する勉強会を開催しています。

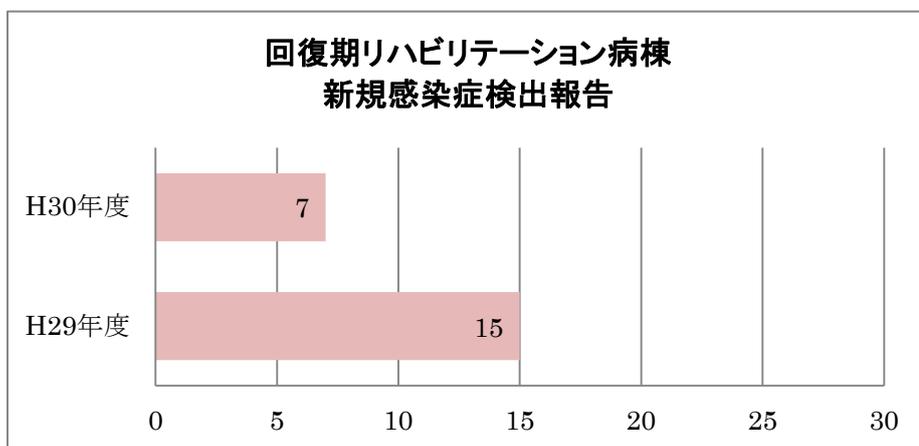


	合計
H29 年度	6
H30 年度	8

11 新規感染症検出報告

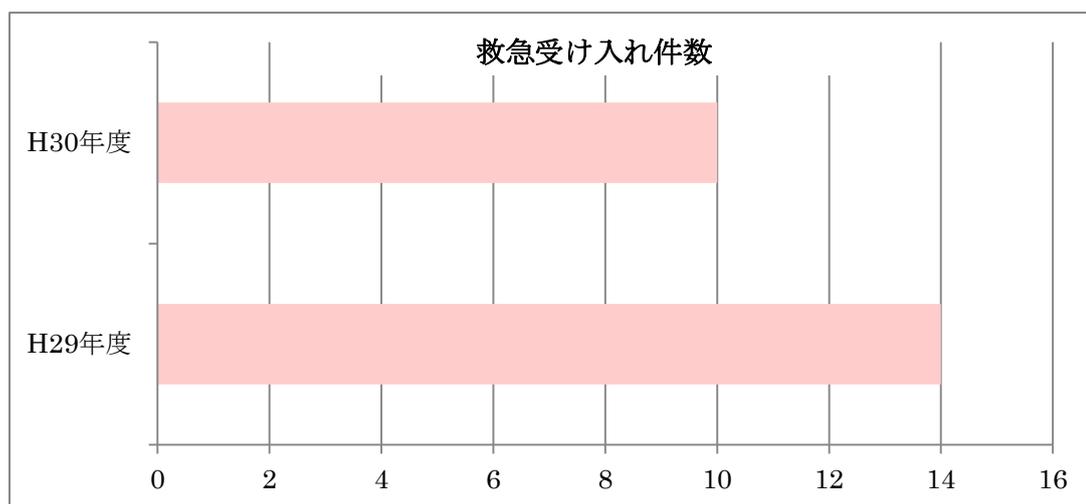


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	1	4	2	1	3	0	0	0	0	1	2	1	15
H30年度	1	0	0	3	0	0	0	0	1	2	0	2	9



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	1	1	0	0	0	1	1	0	2	9	0	0	15
H30年度	0	0	1	1	0	0	2	0	3	0	0	0	7

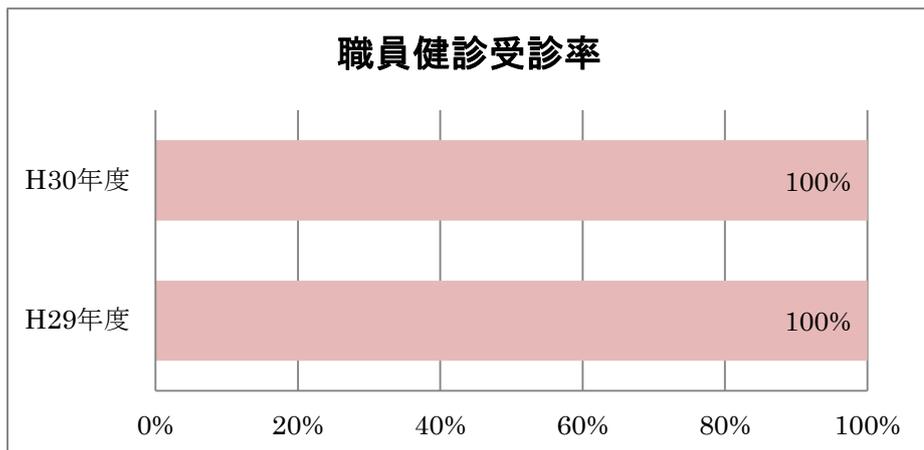
## 12 救急受け入れ件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	1	1	2	0	2	2	1	1	2	0	2	0	14
H30年度	3	1	1	0	1	0	0	0	2	1	0	1	10

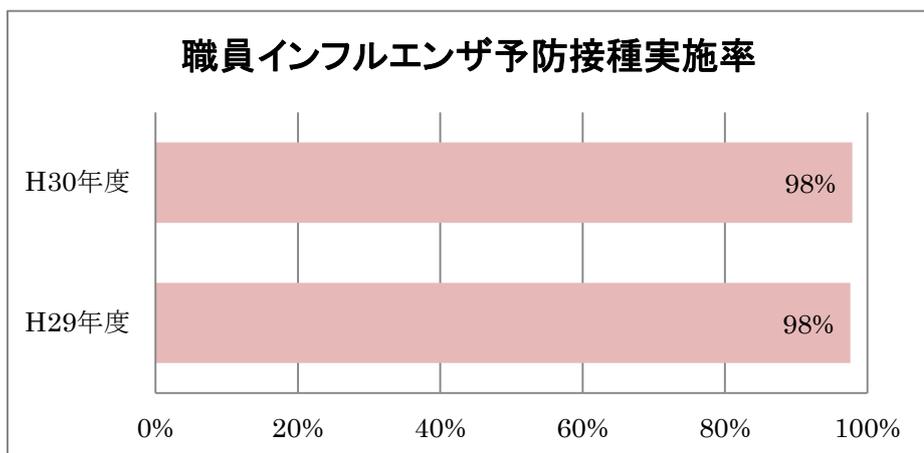
## II 予防医療

### 1 職員健診受診率



	対象者	受診者	受診率
H29 年度	92	92	100%
H30 年度	98	98	100%

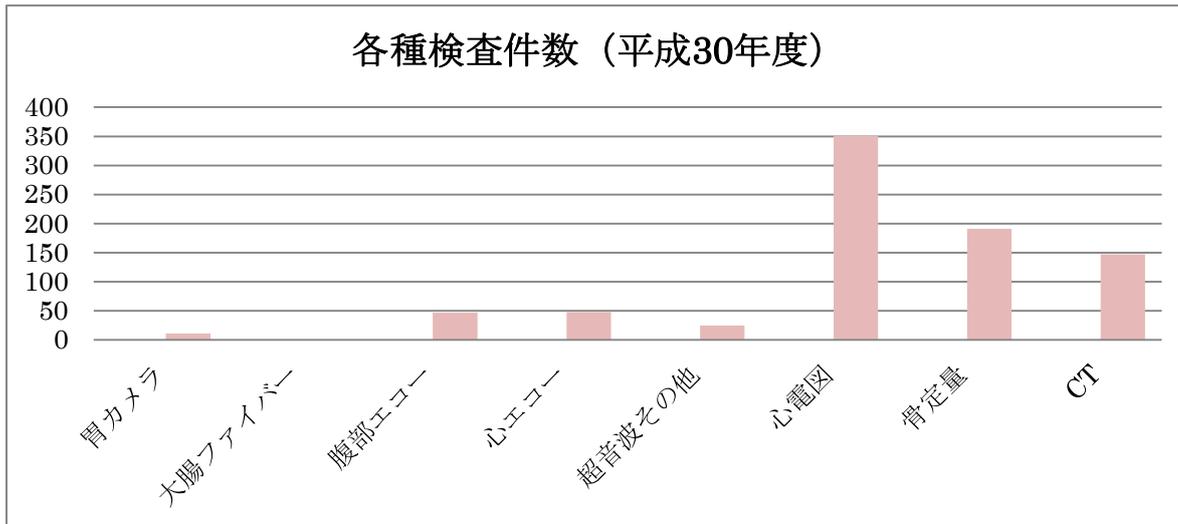
### 2 職員インフルエンザ予防接種率



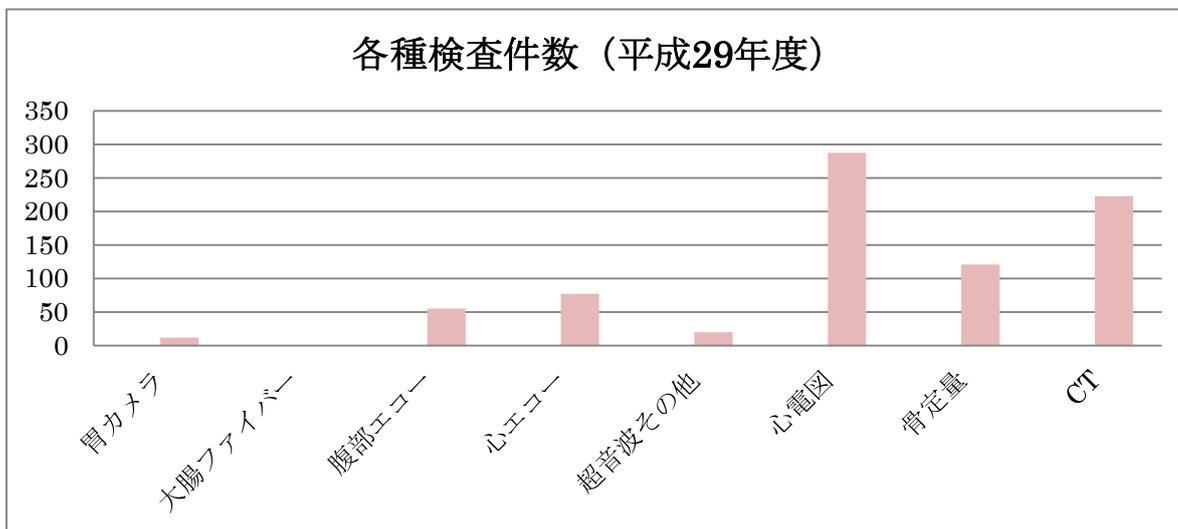
	対象者	受診者	受診率
H29 年度	126	123	98%
H30 年度	142	139	98%

### Ⅲ 診療プロセス

#### 1 各種検査件数



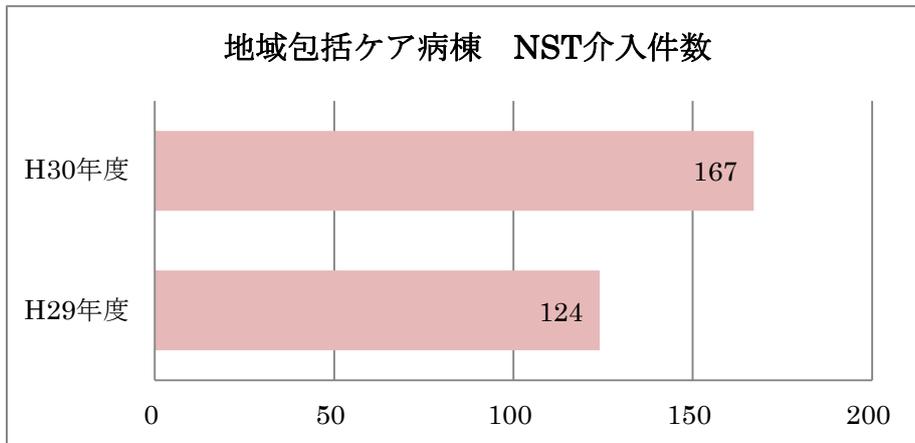
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	1	2	2	1	3	0	0	0	1	0	1	0	11
大腸ファイバー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部エコー	8	2	5	7	5	2	3	3	2	1	7	2	47
心エコー	3	5	8	3	10	3	1	1	3	4	5	2	48
超音波その他	3	3	0	11	1	1	0	3	0	1	2	0	25
心電図	14	30	27	44	31	25	32	11	29	37	32	39	351
骨定量	13	16	12	20	21	14	17	5	19	19	15	20	191
CT	13	12	18	16	17	14	4	2	4	12	24	11	147
合計	55	70	72	102	88	59	57	25	58	74	86	74	820



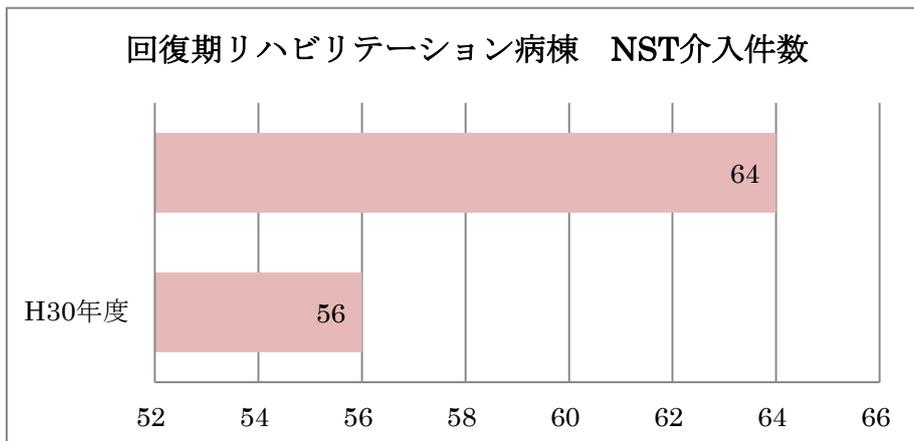
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	1	1	1	2	0	1	1	0	0	1	1	3	12
大腸ファイバー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部エコー	6	0	8	3	3	3	1	7	3	7	4	10	55
心エコー	6	9	13	5	10	3	5	5	4	2	6	9	77
超音波その他	3	1	1	1	3	2	1	2	1	1	3	1	20
心電図	32	22	22	26	24	25	20	23	24	15	21	34	288
骨定量	13	12	16	6	9	10	10	7	15	6	9	8	121
CT	11	20	25	21	15	20	13	22	14	14	27	21	223
合計	72	65	86	64	64	64	51	66	61	46	71	86	796

## 2 NST介入件数

NSTとは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師等の多くの医療従事者が共同して患者さんの栄養管理を行う栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）の略称です。栄養サポートチームでは、栄養管理上問題のある患者さんの栄養状態を確認して、栄養障害の有無の評価、適切な栄養管理が実施されているかをチェックして、栄養状態の改善に向けての提言を行っています。



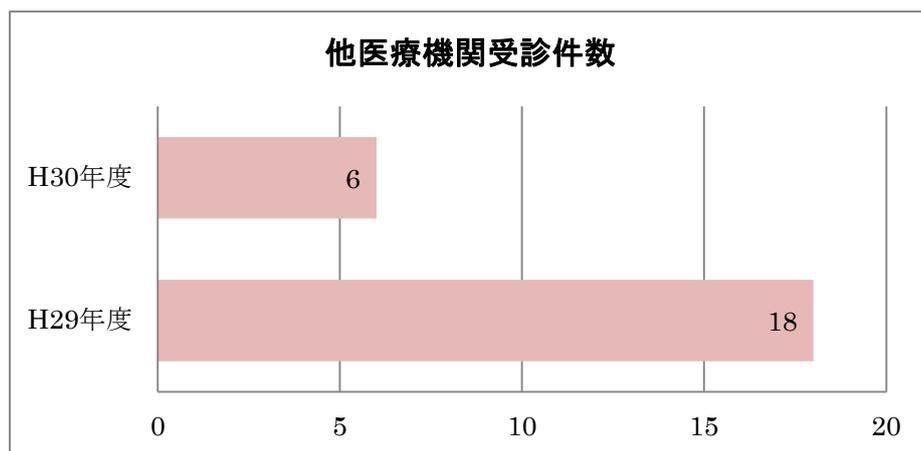
	合計
H29 年度	124
H30 年度	167



	合計
H29 年度	56
H30 年度	64

### 3 他医療機関診察依頼の割合

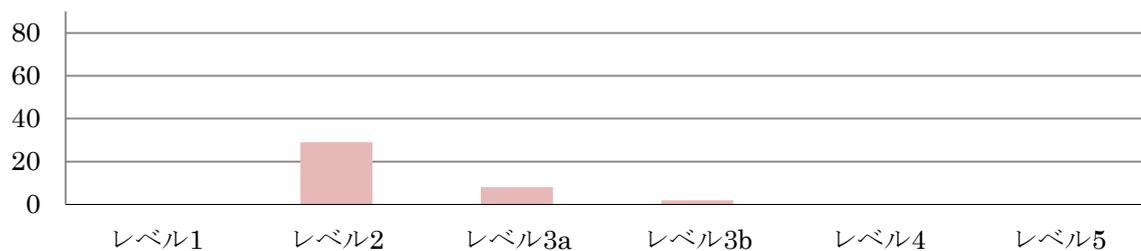
入院期間中の他医療機関の受診件数です。当院専門外になる眼科、泌尿器科などの受診が多く見られます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度		2	3	3	4	1			3			2	18
H30年度		1	2	1			1		1				6



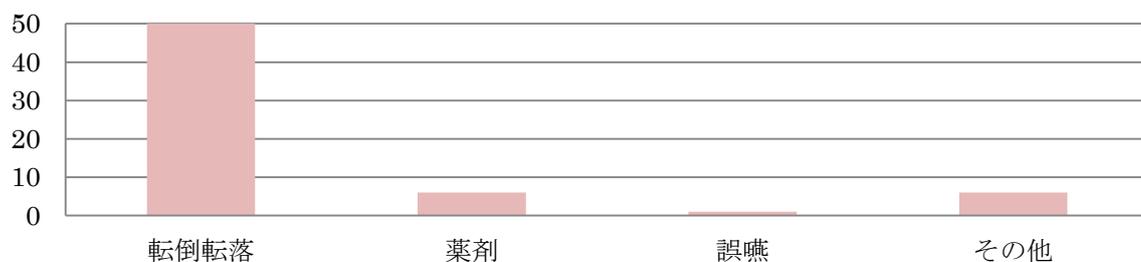
### インシデント レベル別件数(平成29年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レベル1													0
レベル2	2		1	1	6	2	2	5	4	3	1	2	29
レベル3a	1				2			3	1			1	8
レベル3b	1	1											2
レベル4													0
レベル5													0

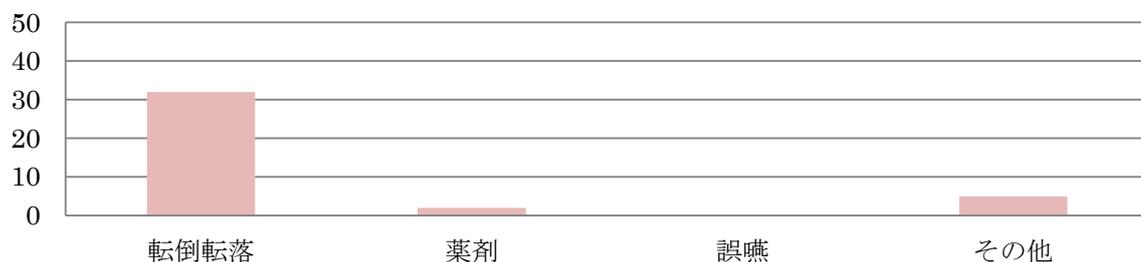
### 3 インシデント 内容別件数 (平成30年度)

#### インシデント 内容別件数 (平成30年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒転落	7	4	8	8	3	2	1	5	3	3	2	4	50
薬剤		1			2	1			1		1		6
誤嚥								1					1
その他			1	1			2	1				1	6

#### インシデント 内容別件数(平成29年度)



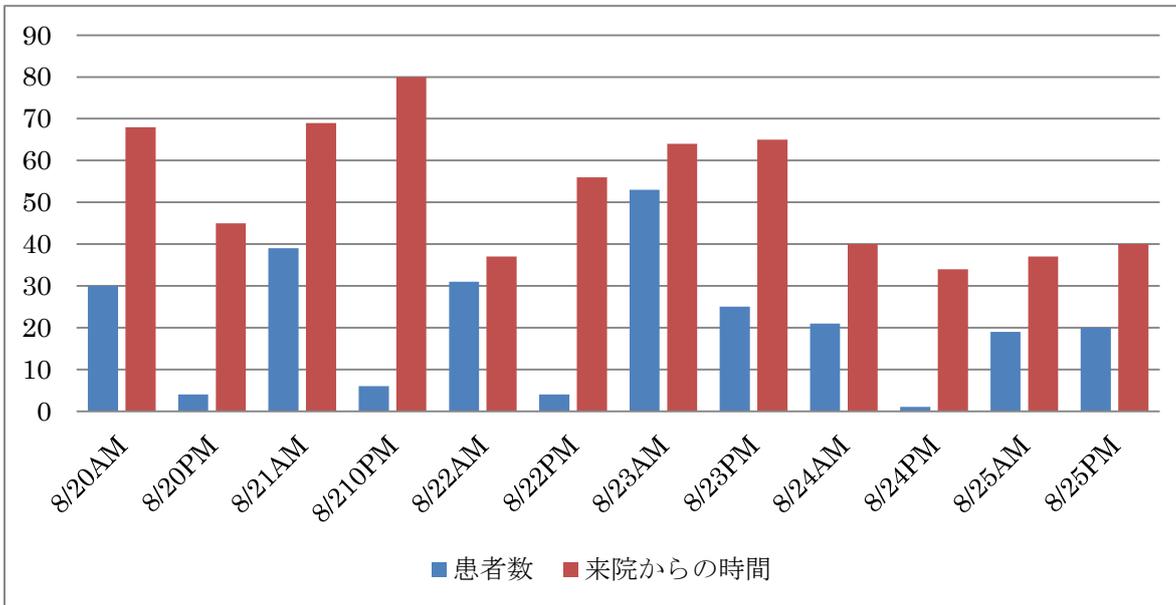
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒転落	4	1	1	1	8	1	2	6	4	1	1	2	32
薬剤						1				1			2
誤嚥													0
その他								2	1	1		1	5

V 経営・患者満足

1 外来待ち時間

外来診療の患者満足度を評価する指標の一つとして外来待ち時間が挙げられます。外来待ち時間が発生する原因としては様々な要因があります。予約制をさらに充実させ、待ち時間ゼロを目指すことが重要です。平成30年度に関しては、8月20日から8月25日までの期間で、計253名の患者様の外来待ち時間の調査を実施致しました。対象者は予約有りの方も予約の無しの方も含めた全ての患者様です。

調査期間 平成30年8月20日～8月25日



	月		火		水		木		金		土		
	8/20AM	8/20PM	8/21AM	8/210PM	8/22AM	8/22PM	8/23AM	8/23PM	8/24AM	8/24PM	8/25AM	8/25PM	
患者数	30	4	39	6	31	4	53	25	21	1	19	20	(人)
診察処置待ち時間	30	27	37	49	20	17	28	40	24	23	20	18	(分)
会計待ち時間	16	7	12	11	11	9	17	13	12	4	9	11	(分)
調剤待ち時間	26	9	24	16	8	7	16	8	10	6	9	11	(分)
合計待ち時間	43	37	46	30	28	46	52	46	32	28	28	23	(分)
来院からの時間	68	45	69	80	37	56	64	65	40	34	37	40	(分)